



TIAニュース

NO. 4 1993

編集・発行 財団法人 高松市国際交流協会
〒760 高松市番町一丁目8番15号 高松市国際交流課内

高松に住む外国の方々と市民との 交流を進めています！

Improving communication between foreigners
and the citizens of Takamatsu
积极推进外国朋友和市民间友好交流活动的发展

高松タウンウォッチング

“LET'S EXPLORE TAKAMATSU!”
高松参観小旅行

在住の外国人に高松市の産業や公共施設などをもっと知ってもらおうと同時に、案内役の市民との交流を深める機会として高松タウンウォッチングを開催。第1回は、在住の外国人（中国・米国・インドネシア・ハンガリーなど9カ国）24人、日本人25人が参加し、JR四国高松運転所、うどんのさぬき麵業、西部広域グリーンセンター、漆塗りの一和堂を訪問しました。



う～ん 同じ太さで切るのは難しい！
手打ちうどん作りを体験

"Gee, it's hard to cut it in the same thickness."
Have fun making Udon at a Sanuki Udon
Restaurant.

要切得一样粗，可不容易！在赞岐面业学做面条。

なかでも参加者の人気を集めたのが、昼食を兼ねた手打ちうどんづくり。さぬき麵業の方の指導のもと、外国の方と日本人が慣れない手付きで、協力しながらうどんを打っていく様子は和気あいあいとしたものでした。できあがったうどんは太いの細いの、腰が強いのないのと様々でしたが、自ら作ったとあって味の方は格別で、参加者は「おいしい」を連発していました。

第2回には、外国の方28人、日本人20人が参加し、高松タウンパク豆腐工場、高松市図書館、歴史資料館、大川原染色本舗の染色工場を訪問。

高松市民でも普段、なかなか見られない豆腐の製造や染色の行程を見学することができ、日本の食文化や伝統工芸の一端を垣間見ることができました。とりわけ、染色工場ではハンカチに自分の名前を染めることができ、参加者は世界にただ一つしかないオリジナル作品を手にして、満足の声をあげていました。



染色工場で At the Dye Works 在染色工厂

JR四国では、試運転前の特急車両、グリーンセンターでは集めてきたゴミがどのように処理されるか、一和堂では香川特産の漆器がどのような過程で作られるかなどを見学。

国際井戸ばたサロン

“International Tea Time” (Korean Day)

国际交流沙龙(韩国日)

アジアの人とゆっくり語ってみよう！をテーマに市内のホテルで第1回の国際井戸ばたサロンを開催しました。1回目の今回は韓国の留学生10数名の参加を得て、気楽なおしゃべりを楽しみました。



日本の物価の高さにびっくり！

“Surprised by the Japanese high prices”

日本物价昂贵，令人吃惊。

第1部では、留学生 金相洙(キム・サンスー)さんから、韓国と日本の生活の違う点についての話をさせていただきました。

- ・日本は物価が韓国の6倍くらいも高くびっくりした。特に食費が高い。
- ・高松の人は大変親切で、外国に来ているという気がしない。
- ・日本人の中には、結婚式は教会で、葬式は寺で行う人がいるのが、奇妙で理解できなかった。
- ・日本語を勉強していくのに最初、讃岐弁にとまどった。また、日本語は尊敬語、謙譲語等があり難しい。
- ・韓国では食器を持ち上げて食べない。唐辛子、ニンニクをたくさん使う韓国料理に比べ、日本のおかずは甘く感じる。一度韓国に来て本場のキムチを味わって欲しい。うどん屋さんで七味を全部入れて笑われたこともある。
- ・高松では女性がミニスカートをはいて自転車に乗っているのを見て、驚きのあまり危うく交通事故を起こしそうになったことがある。

- ・韓国では、アンテナさえあげれば、日本の衛星放送が受信できる。
- ・韓国のホテルや家にはオンドル(温突)があり、部屋全体が暖かい。
- ・韓国では、結婚しても女性は姓を変えない。
- ・韓国には、徴兵制度があり、男子は満13歳になると兵役の義務がある。
- ・チマチョゴリの民族衣裳は日本の着物と同じで、正月やお盆、結婚式に着る。
- ・韓国では、タバコは目上の人の前ですわない。こちらに来て、先生の前でタバコをすう学生を見て驚いた。
- ・韓国と日本が近くて遠い国から近くて近い国になるために、両国の人がもっとお互いの国のことを理解し合わなければならない。

以上、来日して困ったことや失敗談を交えて、ユーモアたっぷりに生活習慣の違いについて流暢な日本語で話をいただきました。

2部では「アリラン」や日本のフォークソングなどをギターの伴奏に合わせ、全員で合唱し、3部では、五つのテーブルを囲んで、若者の結婚観、将来の希望・夢、言葉の問題等について話し合い、和やかな雰囲気にも包まれたひとときを過ごしました。



「アリラン」を全員で大合唱！

Big chorus of “Arirang” 全体齐唱“阿里琅”

サロン終了後、話足りない参加者は近くの喫茶店に会場を移し、友好を深めました。

国際交流ファミリーのつどい

“The International Exchange Outdoor Meeting”

国际大家庭友好交流活动



五色台という自然の中で、在住の外国人と日本人が協同して野外炊飯やレクリエーションゲームをすることによって家族ぐるみでグローバルなおつきあいができるよう「国際交流ファミリーのつどい」を実施しました。中国、韓国、米国、フランスなど7か国55人、日本人45人の親子や友だちなどが集まり、午前はず、自己紹介をしてから、レクリエーションゲームを楽しみました。言葉の不要なゲームでは歓声と拍手が飛び交い、バスに乗った時の緊張した面持ちはゲーム開始と同時に消え、野外広場はほのほのした雰囲気にも包まれました。昼食ではまず、班分けをし、各班で料理の分担を決め、野外炊飯開始。慣れない手付きで野菜を切る人、火をおこす

うまく炊けてなかったらどうしよう？ 饭要是煮得夹生就糟了。

“What will we do if the rice doesn't turn out?”

人、薪を運ぶ人、みんな汗だくです。カレーにバーベキューがこの日のメニュー。青空のもと自分たちで苦心して作った料理の味はまた格別です。全員で片付けをした後はミニミニ運動会に移り、料理の班そのままの対抗戦は笑いと声援の渦に包まれ、その声は五色台の峰に響きわたりました。

ワッセ/ワッセ!
Centipede race - "One, two, One, two....."
加油! 加油!



いろいろな国のことを知るとともに、高松のことを知らせることが、相互理解をより深め、交流の輪を一層広げます。

協会では、これからも高松に住む外国の方々との交流事業を行いますので、どんどん参加してください。

また、団体等でのこのような事業の実施に対しても支援していきます。

Person: 人・ひと

サッカー王国・ブラジルからやってきた
強力な助っ人!

ジョゼ・カルロス・ド・アマラルさん(ブラジル)
A big helper from Brazil, the Mecca of Soccer.
José Carlos do Amaral
来自足球王国・巴西的强手约瑟·卡路罗斯·德·阿玛拉鲁。

职业
选手
时期



プロで活躍していた頃

When he was a professional soccer player.

アマラルさんは東四国国体のサッカーで、県勢が上位進出を図るため、高松に呼ばれました。現在は高松商業高校サッカー部でコーチをしています。今日は彼のお宅にお伺いして、高松の印象などを聞いてみました。

・高松の印象は?

—高松は美しい街ですね。規模は中ぐらいの街ですが、何でも揃う便利な街です。家族全員高松をとて気に入っています。高松の人は親切なので、楽しく暮らすことができます。

・ブラジルと日本の習慣の違いは?

—かなり違いますが、日本に来る前にトラブルが起きないように勉強してきたので、生活はあまり困っていません。

・好きな日本料理は?

—おいが苦手な納豆を除いて何でも食べます。

・あなたのこれまでの経歴を簡単に教えてください。

—16歳でサッカー選手に、17歳でプロ選手になりました。15年間、プロ選手として活躍した後、体育大学に入り、

卒業後はサッカーの監督またはコーチをしています。

・国体に向けての抱負は?

—試合の時は勝とうという気持ちが必要です。その気持ちを選手にも伝えて、気持ちを高めるのです。日本の選手はどうしても勝とうという気持ちが少し弱いのではないのでしょうか。それができたら将来日本は世界一の国になるのでは?

・日本語スピーチコンテストやチャリティバザーでもサンバを演奏されましたが、ギターや歌も上手ですね。

—まあまあですよ。歌やギターは子供の時からしていますし、サッカーの後は歌やギターを弾いて楽しむんです。日本の方は仕事で頭がいっぱいになってしまうことが多いようですが、歌やギターを弾くことで息抜きをして、気持ちに余裕を持つことが大切ではないのでしょうか。

・最後に、高松が外国人にとって住みやすいまちになるために、何かご意見は?

—まず、電車やバスに乗る時、駅名が漢字なので困っています。ローマ字だと助かります。

次に、国際電話ができる電話ボックスをもっと多く設置してほしいです。通話料の安い夜間に自宅から遠い電話ボックスまで行くのはとても不便です。

3つ目は海水浴場に、犬のふんなどがあるので、もっときれいにしてほしいと思います。

オプリガード(ありがとう)



アマラルさんファミリー
The Amaral family 阿玛拉鲁一家

一起弃之就是垃圾，分开集中起来就是资源。

请大家来参加废物再利用活动!

您知道垃圾收集日是星期几?收集点在何处?
高松市各个地区分别按以下日期收集垃圾。



A: 星期一、四 B: 星期二、五
C: 星期三、六

您所在的地区是哪个类型?

不清楚的地方可向邻居、管理人或清扫事业课(电话:61-4524)打听。如给本协会打电话,我们可以代您询问。



垃圾分为以下几种

- 1 可燃垃圾
厨房垃圾、废纸、纸制品、贝壳
- 2 不可燃垃圾(填埋垃圾)
瓶、玻璃、陶瓷、塑料,泡沫聚苯乙烯制品托盘、皮制品、小电器
- 3 资源垃圾
锅、水壶、平底锅、空罐、可口可乐瓶、啤酒瓶、1.8ℓ瓶、毛巾、窗帘、纸板箱、报纸、书刊杂志、广告内·外衣、破·碎布。
- 4 大型垃圾(不可扔到收集点的废物)
大型垃圾指的是家具、卧具、家用电器、搬家大扫除时清理出的物品。不作为家庭垃圾收集。可与市废弃物减量推进课(电话:34-0366)联系。(收费)



まとめて捨てればただのゴミ
分けて出したらそれは資源!

どうかリサイクル(再利用)にご協力を!

あなたはゴミの収集日が何曜日で、どこが収集場所が知っていますか?

高松市では可燃ゴミを各地域ごとに3つの収集日のいずれかに分けて収集しています。

A=月・木 B=火・金 C=水・土

Q あなたの住んでいる地域はどのタイプですか?

近所の人、管理人、または清掃事業課(Tel 61-4524)へお尋ねください。もし、当協会に電話していただければ、あなたに代わってこちらでお聞きすることができます。

*ゴミは次のように分けて出してください。

- 1 燃やすことのできるゴミ
生ゴミ、紙くず、紙製品、貝殻など燃やせるもの
- 2 燃やすことができないゴミ(埋め立てゴミ)
ビン・ガラス、瀬戸物、プラスチック、発泡スチロール、トレー、革製品、電気器具(小)
- 3 資源ゴミ(資源回収実施地区のみ)*
鍋・やかん・フライパン、あき缶、コーラ等びん、ビールびん・1.8ℓリットルびん、タオル・カーテン・ダンボール、雑誌・本・チラシ、新聞紙、上着・下着、各衣類のポロギレ、布ギレ
- 4 粗大ゴミ(収集場に出せないゴミ)
家具、寝具、大型の家電製品、引っ越し・大掃除によるゴミは粗大ゴミです。家庭ゴミとして収集できません。収集は市の廃棄物减量推進課(Tel34-0366)へ電話して申し込んでください。(有料)

*地域によっては3の資源ゴミを回収していないところがあります。(主に市の中心部)あなたの地域は1と2しかないかもしれませんので御了承ください。

注意!

・スプレー缶などは爆発の原因となりますので、穴をあけて出してください。

Mixed up it's just garbage
-separated, it's a resource!

Please help with recycling.
Do you know what days of the week and place your garbage is collected?

Takamatsu is divided into 3 collection areas for burnable garbage; each having different days.

A=Mon,Thurs. B=Tues,Fri. C=Wed,Sat.

Which area do you live in?

Please ask your neighbors, superintendent or The Department of Sanitation. TEL.61-4524.

We also can place this call for you, if you will give us the area you live in and your address.

* Please divide your garbage in the following manner:

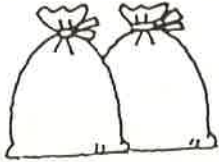
- 1 Combustible(burnable)Garbage
Raw kitchen refuse, waste paper, paper products and seashells
- 2 Incombustible(non-burnable)Garbage
Bottles, glass, ceramics and china, plastics, polystyrene, stainless steel trays, leather products, small electrical appliances, and non-aluminum cans
- 3 Recyclable Garbage (Not all areas have recyclable garbage days)*
Pots and pans, kettles, aluminum foil aluminum cans(soda cans)soda bottles beer bottles, 1.8 litre bottles(large soy sauce bottles), towels, curtains, cardboard, magazines, books, newspaper, clothes and rags
- 4 Large Garbage(This type of garbage cannot be dumped at the designated collection area.)
Furniture, bedding, large electrical home appliances etc. These things cannot be collected as household garbage. Please consult the The Department of Waste Reduction For a pick-up TEL.34-0366

* Some areas do not have 3 recyclable garbage.(This is predominantly in the urban residential communities). These areas may only have 1 and 2 garbage days.

※有的地区没有实行资源垃圾的回收。(主要是市中心地区)您所在的地区或许也没有实行。

注意事项：

- 气体空罐等易爆物品，要打孔以后再扔掉
- 干电池、萤火虫放入透明塑料袋扎好口。实行资源回收的地区在资源回收日收集，其他地区在每个月的第二个不可燃垃圾收集日收集。
- 纽扣电池由钟表店照相机店回收。



出垃圾时的基本注意事项

- ① 在收集日扔垃圾
不要在前一天晚上或收集日后扔垃圾，提前扔时，狗、猫会乱扒。
- ② 可燃垃圾和不可燃垃圾一定要分开。
- ③ 充分除去水份。
- ④ 一定要放入垃圾袋中。(扎紧袋口，在收集日上午八点之前放到规定的收集点)
- ⑤ 考虑收集垃圾人的安全
玻璃碎片，竹针等易划破手。
- ⑥ 塑料类易损伤处理中心的焚烧炉壁。集中起来在不可燃垃圾收集日扔出。
- ⑦ 不要从车内往外扔空罐和垃圾。



保护环境，减少垃圾量，促进废物再利用！



爱护地球，从我开始做起！



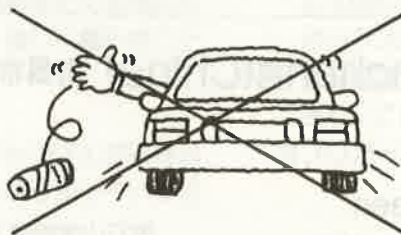
• 乾電池・蛍光灯は透明なビニール袋に入れて口をしぼり、資源回収実施地区では月1回の資源回収日に、その他の地区は月2回の燃えないゴミの収集日のうち、2回目の日に出してください。なお、ボタン型の電池は時計店・カメラ店で引き取るになっています。

ゴミを出す時などに注意する 7つの基本事項

- ① ゴミは収集日に出しましょう。
前夜や収集後には出さないでください。
・前日の夜などから出すと犬が食べ散らかします。
- ② 燃やせるゴミ、燃やせないゴミの区別はきちんとしてください。
- ③ 水切りは十分にしましょう。
- ④ 必ず袋に入れて出しましょう。
袋の口はかたくしぼり、収集日の午前8時までには決められた場所へ出しましょう。
- ⑤ ゴミを集める人の安全も考えて
ガラスの破片や竹串でケガをします。
- ⑥ プラスチック類は清掃工場の炉をいためます。
燃やせないゴミ収集日にまとめて出しましょう。
- ⑦ 車から空缶やゴミを捨てないで

～環境にやさしく
ゴミの減量と資源化を～

～地球規模で考え、足元から行動する～



Warning!

- Puncture a hole in all aerosol spray cans to prevent explosion.
- Put all used batteries in a transparent plastic bag. Tie the mouth shut and put them out with the recyclable garbage. If your area does not have a recyclable garbage day, put them out on the 2nd day for non-burnable garbage in the month. Button size batteries can be returned to watch shops or camera shops.

7 helpful hints for getting along well in your Japanese community.

- ① put garbage out only on collection days Don't put garbage out the night before, as stray animals may get into it and mess up the area.
- ② Correctly divide your garbage between combustible and incombustible garbage.
- ③ Drain water from all kitchen refuse and put it in a tied plastic bag.
- ④ Always place garbage in a polyethylene(plastic)bag. Tie the bag securely and place it at the designated collection spot before 8:00 a.m. on collection days.
- ⑤ Be thoughtful of the people collecting the garbage, as it is possible for them to be injured by pieces of glass and bamboo skewers. Wrap such items in newspaper.
- ⑥ Plastics which are dumped with the combustibles, damage the furnaces at the sanitation center. Put all plastics out with the incombustible garbage.
- ⑦ Don't throw out empty cans or trash from your car window.

Let's be kind to our environment – "Minimize garbage and create resources"

Think globally, act locally

トゥール市(フランス共和国) Tours(France) 特吾尔市(法国)

トゥール親善留学によせて

姉妹都市親善留学生 別府 葉子
 “I left my heart in Tours”~♪
 Representative student Yoko Beppu
 寄语特吾尔友好留学

トゥール市内を流れるロワール川といえば河岸に美しい姿をとどめる数々の古城で有名ですが、その川沿いを歩いていると実に様々な風景に出会えます。手をつないで散歩をする老夫婦、ベンチに座ってパンをかじる恋人達、犬を連れてジョギングする家族、芝生にねそべりサックスを吹く学生など、まさにフランスが凝縮されているといった感じです。

トゥール市に着いて二日目、オルレアンを訪ねた時に、ジャンヌ・ダルクの生家で大変印象深いことがありました。受付の売店で葉書を買いながら世間話をしていると、“あなたの日本の友人に”と言って日本語のパンフレットを5部分けてくれたのです。この心温まるプレゼントは早速エピソードをそえて日本の友人に送り、大変喜ばれました。ほんのちよつとしたきっかけで、こういう小さな国際交流も生まれるのだと大変感激しました。



ロワール川を見下ろす岩山の上に立つアンボワーズ城
 Castle of Amboise on the Loire River
 屹立于罗瓦鲁河畔的安波瓦茨城

しかし、私にとって一番の国際交流は、やはりホームステイ先のフランス人の〈Maman〉(お母さん)とスイス人の親友、そして様々な国籍の友人ができたことです。ホームステイ先で客人としてではなく全く家族同様に可愛いがってくれたマダム、姉妹同様に暮らしたスイス人の女の子、特に部屋で彼女と語り明かした恋愛論やギターを片手にうたったピー



語学学校のパーティーで日本の歌を披露(左から3人目)
 Singing a Japanese song at a party of the language school (The 3rd person from left)

在语言学校的联欢会上演唱日本歌。(左3)

トルズは生涯忘れられない思い出です。学内、学外での遊び仲間など、本当に色濃い出会いに恵まれたと思います。

フランス語を勉強したおかげで、色々な国の人々とコミュニケーションを持つことが出来るという素晴らしさをあらためて実感しました。フランス語を話すだけで、アジア人ともアラブ人とも、欧米人とも、もちろんフランス人とも、人を介さず直接“会話”ができるのです。島国の日本で生まれ育った私にとっては、ショックでもあり、また感激の連続でした。ヨーロッパの中央に位置し、人種の坩堝であるフランスで三ヶ月を過ごせたということは、これまで生きてきた中で最も多くのことを考えさせられた期間だったように思います。

今回の親善留学に際し、私の拙いフランス語で日本の姿が或は高松の姿がどれだけ伝わったかは正直言ってわかりません。しかし、少なくとも話をした人たちは、私というファインダーを通して日本というものを知る機会があったのだと自負しています。そういった意味では、また、トゥーレーヌ語学学院のパーティーで、日本の曲を披露できたことも役に立っているのかもしれない。

この町で素敵な方々にお会いできたことは、良い思い出であると同時に、また大変な幸せです。そして、この美しいトゥールと高松が姉妹都市として交流を続けていけることを誇りに思います。

私をトゥールへ導いてくれたこの素晴らしい〈姉妹都市縁組〉に感謝するとともに、様々な国際交流の場で活躍されている方々に、心からの感激とエールを送りたいと思います。そして、私を支えて下さった皆様方にGrosses bises(親愛のキス)を送ります。

南昌市(中華人民共和国)Nanchang(China) 南昌市(中华人民共和国)

近くなった中国

The growing friendship between
 Nanchang and Takamatsu
 中国已不再陌生

弦打小学校創立百周年記念事業実行委員会
 交流部長

住谷 幸伸

Tsuruuchi Elementary School Centennial
 Memorial Events Committee Executive
 Yukinobu Sumitani

弦打小学校は8年前から中国残留孤児の子供達を受け入れており、一時期は19人もの子女が在籍したことがあり、言葉や生活習慣の違い、学習の遅れ等からのトラブルも時々ありました。

明治25年に創立された弦打小学校は百周年を迎え、その祭行事として、校区住民総参加の各種事業が実施されました。



中国のかわいい子供らの舞踊にただ感激
How cute Chinese children's dances are!
中国孩子们的表演，令人赞叹不已

その一つの事業として、彼ら帰国子女達の故郷を見に行こうという話が持ち上がりました。子女達が生まれ育った国を実際の目で確かめることによって、お互いに理解を深めたい……。私たちはそう考えました。

私たちが交流相手として選んだのは高松市の友好都市である中国・南昌市の育新学校でした。育新学校は1952年に設立された学校で児童数が3,000人、教員数150人のマンモス校で、小学校から中学校までの8年制の一貫教育の学校でもあります。市の中心部に位置しているながら、自然環境に恵まれ「英雄都市のエメラルド」と呼ばれています。

育新学校と交流することが決まって二年、これまですでに5回の人的交流がありました。最初は小学生の海外交流の可能性を確かめるため、私と植田校長そして西谷PTA会長が南昌市を訪問しました。想像していた以上に中国側は交流事

業に積極的で、国内の治安も心配なく、私達はこの事業に自信を深めることができました。二度目は、校区住民を対象とした友好訪問です。小学生からお年寄りまで15名が南昌市を訪れ、熱烈な歓迎を受けました。そして次に、育新学校のある東湖区の羅区長、郭教育局長及び育新学校の成校長が高松市を訪れ、一行は東京での日程を含め、8日間の研修を行いました。日本の経済力に驚嘆し、自然や風俗に好感を持ったと聞いております。

昨年7月27日、弦打小学校児童26名を含む中国派遣団35名は中国へと旅立ちました。出発前の事前研修会で綿密な打ち合わせをし、食べ物や南昌市の気候に対する十分な準備はしていたものの、本当に小学生が海外でのプログラムを消化できるか一抹の不安はありました。予想通り中国は41度の猛暑でした。しかし、上海から南昌まで7時間の列車の旅は、私たちのために軟座（冷房の効く1等車）を増結し、車内での弁当もケーキとクッキーという気の使いようでした。また、南昌市から車で片道4時間かかる避暑地「庐山」でのプログラムも、事前に下見を十分にし、前日から先発隊が待ち受けるという配慮がありました。そして、私たちが一番感激したのは育新学校主催の歓迎会です。慣れない日本語で「ようこそ!! ようこそ!!」と児童、先生、父兄が私達を迎えてくれ、中国の子供達の舞踊、歌唱には日本の子供達もその素晴らしさに魅了され、時のたつのを忘れて交流を深めました。日本側は笛の演奏や日本の歌を披露し、全員で大きな輪になって「瀬戸の都高松踊り」を踊りました。中国の子供達の明るくて純真な表情が今も顔に焼き付いて忘れられません。そして今度は10月に、育新学校の子供達が高松市を訪れ、私達は弦打地区あげて彼らを迎えました。そして、今後もこの友好の輪が大きく大きく広がることを切望しています。

セントピーターズバーグ市(アメリカ合衆国) St.Petersburg(U.S.A) 聖多・琵琶斯・堡市(美国)

はじめまして ジェニファーです!

Hi! I'm Jennifer 你好，我是珍妮

第27回姉妹都市招へい教師

ジェニファー・ニュートン

Sister city exchange teacher

Jennifer Newton

私はアメリカのセント・ピーターズバーグ市から、姉妹都市招へい教師として高松に来ました。

私はロードアイランド州で生まれ、そこで17歳まで暮らし、それから3年間はボストンで勉強しました。その後、セント・ピーターズバーグ市にあるエッカード大学に入学したのです。

エッカード大学では生物学を専攻し、特に海の問題は熱心に勉強しました。セント・ピーターズバーグはメキシコ湾とタンパ湾の両方に接しているため、美しい砂浜がたくさんあり、気候もおだやかで、一年中太陽がさんさんと輝き、そのおかげで、海洋学には最高の場所なんです。またセント・ピーターズバーグは避暑地として大変有名で、観光客や住民に、文化面でもレクリエーション面でも楽しめる機会を提供



しています。素敵な演劇・音楽・ダンスの公演も再三やって来ますし、フォート・デ・ソートのような自然を生かした公園もたくさんあります。

私の趣味は、読書・ハイキング・音楽とか水彩画ですが、高松では、市民の方から実際に住んでいる人のことや日本の文化などについて学ぶことが楽しみです。特に、日本語と水彩画を習うことに大変興味を持っており、人をとて魅了する日本画の技法をぜひ、学びたいと思っています。また、日本の学生に英語を教えることによって、互いの文化を理解し合えると信じています。

私が大阪から高松への機内から見た高松の第一印象は、山々がとても美しいということです。島の向こうに夕陽が沈む様子など本当に息をのむような光景です。午後の栗林公園内の橋とまわりの自然が織りなす姿は、訪れるのに本当に価値がある素晴らしいところだと思います。これまで高松でお会いした方、皆さんがとても親切にしてくれるおかげで、ここでの生活はまるで家にいるのと変わりません。どうぞ高松の皆さん、よろしくお願ひします。

日本語講座

Japanese Language Class 日语讲座

基礎的な日本語の日常会話を学びたい人を対象に、日本語講座を開設しています。

現在17の国と地域、77人の受講生が毎週熱心に学習しています。

コース	①初級(英語対応) ②初級(中国語対応) ③中級
期間	1992年10月23日～1993年3月5日 15回 (12月18日～1月15日 冬休み)
曜日	毎週金曜日
時間	18:00～20:00
会場	高松市立市民会館(高松市役所西隣) ①第2会議室(2階) ②第5会議室(2階) ③第6会議室(3階)
講師	①安部 剛 ②毛 勇 ③長谷川 隆
受講者数	① 42名 ② 12名 ③ 23名(1月20日現在)

▽受講対象者

高松市内および近郊に居住もしくは勤務する外国の方や
帰国子女の方

▽申込方法

受講料 1,000円を添えて当協会へ。

◎受講は、途中からも受け付けていますが、受講者が多くなつた場合は、締め切ることがあります。



国際交流講演会

International Relations Lecture 国际交流讲演会



森本忠夫氏



中江要介氏

ロシア問題評論家の森本忠夫氏と元駐中国大使の中江要介氏を迎え、商工会議所会館にて講演会を開催しました。

森本氏は、「混迷する独立国家共同体(旧ソ連)」と題し、エリツィン大統領の訪日中止の理由を分かりやすく分析。また最近のロシア経済の混乱ぶりを具体的な事例や数字で説明し、中江氏は「最近の中国事情と日本の外交」と題して、国交正常化二十周年を迎えて、これからの日中関係のあるべき姿などを豊富な経験をもとに話されました。

約500人の参加者は、講師の明快な語り口に熱心に聞き入り、世界の動きについて理解を深めました。

講演内容を冊子にしておりますので、御希望の方は協会へ。

国際交流ボランティア研修会

Study Meeting for volunteers of TIA and citizens. 国际交流义务服务员研修会

ボランティア登録者やボランティア活動に興味のある市民の研修の場として、講師に、京都から留学生寮の館長を長年勤められ、国際交流に豊富な経験をお持ちの正藤広三先生(財)国際学友会理事)をお招きし、研修会を開催しました。当日は50名が参加し、ホームステイの受け入れ方を解説したビデオを見た後、「国際社会におけるボランティア活動—相互理解の深化に向けて—」と題した先生の話に熱心に耳を傾けました。異質文化に対する気くばりの大切さがよく判った研修会でした。



★ TIA News is a bi-annual publication. If you are not receiving. TIA News and would like to have it sent to you, please call us.

TIA NEWS每年发行两期。如果您需要的话, 请打电话与高松市国际交流协会联系。



1993年1月 (vol. 4)



Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会

〒760 香川県高松市番町一丁目8番15号
高松市役所7階
TEL (0878) 39-2197
FAX (0878) 39-2015

Takamatsu City Office 7F 8-15 Ban-cho 1-chome
Takamatsu Kagawa